ORGANIZATION

組織案内

事務局

「点字毎日」の「理療の世界」コーナーの執筆支援、広報誌「理教連情報」の発行、研修会・各種会議の開催・運営

組織部

全国7支部との連絡調整、理療科教職員を対象とした中央研修会の開催、盲学校実態調査および卒業生実態調査の実施

教育研究部

学術誌「理療教育研究」の発行、理療関係科目の教科書等の執筆・改善に向けた支援、理療教育に関する研修会の企画、研究を行いやすい環境の整備と情報発信

法制部

理療に関わる諸制度の改善を求める活動、視覚障害者の福祉の増進を図る活動、盲学校等職場環境改善に関わる活動

国家試験対策部

全国模試の作成及び実施、国家試験に対する意見集約・受験環境の充実に関する取り組み・合格率の集計等

情報部

ICTを活用した理療教育・理療業に関する情報発信、ホームページ(一般向け・会員向け)およびメーリングリストの運用

その他・各団体との協調

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師に関わる7団体で構成される「あはき等法推進協議会」等、他団体と協調し、理療の発展・視覚障害福祉の増進に関わる活動を行っています。

JOIN!
理教連と
繋がる

視覚障害者の“いま”と“未来”を一緒に支えていきましょう！

さらに詳しい活動内容を知りたい、ご相談・ご提案等がございましたらお気軽に理教連会員までお尋ねください。

日本理療科教員連盟　Japan Association of Massage & Acupuncture Teachers

〒169−0075
東京都新宿区高田馬場1−9−23
東京都盲人福祉協会内

［電話・FAX］03−5287−6601
［メールアドレス］rikyouren-jimukyoku@coffee.ocn.ne.jp
［WEBサイト］http://www.rikyouren.com/

FOUGHT FOR THE FUTURE

未来に、ふれる

り　きょう　れん

理教連ってなんだろう？

視覚障害者の学びと未来を支える

日本理療科教員連盟ガイド

Japan Association of Massage & Acupuncture Teachers Guide

TOUCH THE FUTURE

「職業自立をして社会への扉を開きたい！」
そんな視覚障害のある人たちの
学びと未来を支えるのが私たちの使命です。

理教連の活動

About Japan Association of Massage & Acupuncture Teachers

「触れる」ことは理療施術の原点。
そして、それは視覚障害教育の原点でもあります。
江戸時代、鍼や按摩は盲人の職業として位置づけられました。
その伝統は脈々と今に受け継がれています。
私たち理療科教員は、自らが培ってきた知識と技術を、
生徒の手を取る指導によって伝えています。

OUR MISSION 理教連について

理療（はりきゅうマッサージ）を通じて自立する視覚障害者の学びと未来を支える

日本理療科教員連盟（理教連）は、1952年に発足した、視覚障害者の理療教育（鍼灸マッサージ教育）に携わる者で構成される団体です。視覚障害者の理療による職業自立を支援するために、教育環境・就労環境の整備を中心に、幅広い活動を行っています。

01 全国の生徒のための教育環境整備 整える

視覚障害のある生徒のニーズに合った教科書作り等の支援

《 言葉を重視した教科書の作成 》
図を多用する教科書が増える中、文字による説明を重視した教科書を作成しています。

《 電子教科書の発行を支援 》
墨字使用生徒には個々に見えやすい教科書、点字使用生徒には検索しやすい教科書、点字も墨字も読みにくい生徒には音声で聞ける教科書が必要であることを国に働きかけた結果、理療科用電子教科書が就学奨励費の対象となっています。

《 専門用語読み辞書の開発 》
パソコンで正しく専門用語を読み上げるための読み辞書「読ター（どくたー）」を独自で開発し、一般公開しています。

生徒が国家試験で実力を発揮できるように支援

唯一の全国共通模試を毎年作成・実施。国家試験において視覚障害者が困らないような条件整備を常に提案・要望したり、毎年、国家試験後に不適切問題を指摘し、受験生が不利にならないように対応を実現しています。

02 全国の理療科教員のスキルアップ 支える

日々の授業に役立つ情報を提供

全国の理療科教員が授業で説明に苦慮している事項の解決策をまとめた『盲学校における理療教育事例集』を発刊・販売。理療科教員の情報交換の場として、メーリングリストを運営し、日々遭遇する課題の解決に役立てています。

研究を奨励・推進

全日本盲学校教育研究会（全日盲研）の研究テーマを決めているほか、理療分科会の企画に参画。
会員の研究成果、実践例を発表する場として学術雑誌『理療教育研究』を毎年発刊。また、全国の各地域別で開催されている理療に関する研究会の発表論文データを収集し、会員に公開しています。

専門性向上のための研修会を開催

都道府県教育委員会主催の研修会では取り上げられることの少ない理療の専門性向上のための研修会を企画・開催。最近では、主体的・対話的で深い学びに向けた授業実践、「複数の学校間を結ぶオンライン授業の可能性について」等、ニーズに合ったタイムリーなテーマを取り上げています。
また、視覚障害のある教員が確かなスキルを習得できるように、実技研修会を主催して他の研修会では行えない講師によるマンツーマンの指導を実現しています。

03 社会に対する理解・啓発 伝える

視覚障害者の権利を守る活動

国家試験実施組織、厚生労働省医道審議会、その他理療に関する各種団体に委員を派遣し、視覚障害者が不利にならないように意見・要望を出しています。また、その根拠を示すため、盲学校の生徒の実態、卒業生の進路状況、その他必要な全国調査を行っています。

各種広報活動

視覚障害のある理療師のことを広く社会に知ってもらえるように、リーフレット、ウェブ、動画を作成・発信しています。